

(別紙5)

整理番号 2022P-118
補助事業名 2022年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 (公財) 日本棋院

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ア. 青少年への囲碁普及

イ. 青少年の健全な育成と情操教育の一環として囲碁の活用を図り、社会貢献の一助を担う。

(2) 実施内容

1. 全国高校囲碁選手権大会の開催

(<https://www.nihonkiin.or.jp/event/amakisen/highschool-go-championship/46/index.html>)

各都道府県予選の後、全国大会を開催。

日程：2022年8月3日～5日

会場：東京都千代田区「日本棋院東京本院」、自動車会館

参加人数：団体戦 男子48校165名 女子45校150名

個人戦 男子93名 女子94名



第46回全国高校囲碁選手権大会
(8/4)

会場：日本棋院

女子団体戦 決勝戦

(別紙5)

2. 少年少女囲碁大会の開催

(<https://www.nihonkiin.or.jp/event/amakisen/junior-gochampionship/43/index.html>)

各都道府県予選実施後、全国大会を開催。

日程：2022年8月19日～20日

会場：東京都千代田区「日本棋院東京本院」

参加人数：小学生96名 中学生95名



第43回少年少女囲碁大会 (8/20)

会場：日本棋院

中学生の部 決勝戦

2 予想される事業実施効果

1. 全国高校囲碁選手権大会の開催

男女別に高校日本一を決定する全国大会では、高校囲碁界の棋力向上が期待できる。

また、大会で入賞した選手は囲碁界でも一目置かれる存在となり、囲碁指導でも活躍している。高校生が高いレベルで囲碁を競い合うことで、若い世代への囲碁普及に貢献できるものと予想される。

2. 少年少女囲碁大会の開催

小学生の部・中学生の部にわかれて競う個人戦はレベルが高く、過去の大会の入賞者の中から多くのプロ棋士が誕生している。この大会で過去優勝経験のある若手棋士が今年の世界棋戦で活躍し、日本の囲碁が世界戦でも通用することを証明した。プロ棋士の他にもアマチュアの強豪として活躍する選手が誕生することが予想され、さらなるレベル向上が期待できる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし。

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 日本棋院 (コウエキザイダンホウジン ニホンキイン)

住 所： 〒102-0076

東京都千代田区五番町7-2

代 表 者： 理事長 小林 覚 (コバヤシ サトル)

担 当 部 署： 事業部 (ジギョウブ)

担 当 者 名： 平本 琢也 (ヒラモト タクヤ)

電 話 番 号： 03-3288-8729

F A X： 03-6734-6381

E - m a i l： hiramoto@nihonkiin.or.jp

U R L： <http://www.nihonkiin.or.jp/>